



2013年7月17日

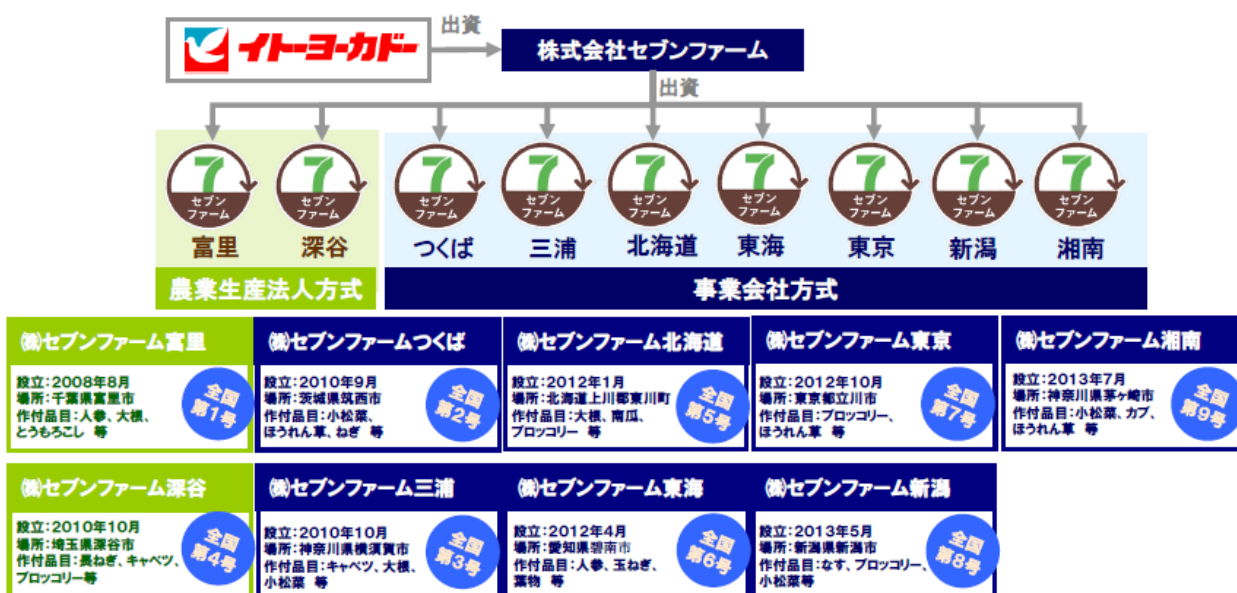
“日本の農業のお手伝い”をさらに推進！ 環境循環型農業『セブンファーム湘南』設立 ～イトーヨーカドー食品廃棄物リサイクル率 45%達成～

セブン&アイ・ホールディングス傘下の総合スーパー、株式会社イトーヨーカ堂（東京都千代田区、代表取締役社長 兼 最高執行責任者（COO）：亀井 淳、以下「当社」）は、このたび、農業事業会社『セブンファーム湘南』を神奈川県茅ヶ崎市に設立し、神奈川県 2ヶ所目の「環境循環型農業」を開始いたします。また、本年 2 月には、食品リサイクル法による食品循環資源リサイクル実施率目標値の 45%を達成いたしました。

『セブンファーム湘南』は、当社の農業事業の中核会社「株式会社セブンファーム」（イトーヨーカ堂 100%子会社）と、法人拠点となる神奈川県茅ヶ崎市の農業生産者による共同出資で設立される農業事業会社です。上記生産者の所有農場のうち、約 2 ヘクタールの耕作地で小松菜やほうれん草、かぶ等の野菜を中心に栽培し、収穫した農産物のほぼ全量を神奈川県内のイトーヨーカドー店舗等に出荷して販売いたします。

当社が 2008 年から取り組んでいる「環境循環型農業」とは、イトーヨーカドー店舗から排出される食品残さ（生ごみ）を堆肥の資源として再利用し、当社が運営する専用農場に導入、そこで栽培～収穫された農産物を食品残さが排出された店舗等で販売するものです。

今般の神奈川県茅ヶ崎市での法人設立は全国 9ヶ所目の展開となり、今年度中に全国 10ヶ所の拠点設立を予定、専用農場の合計面積は約 60 ヘクタール規模まで拡大いたします。



＜セブンファーム拠点概要＞

1. セブンファーム湘南の事業スキームについて



2. 『セブンファーム湘南』 法人概要

- 商 号：株式会社セブンファーム湘南
- 所 在 地：神奈川県茅ヶ崎市
- 設 立 日：2013年7月19日（金）
- 代 表 者：代表取締役 竹田 利明（たけだ としあき）
（セブンファーム代表取締役）
- 出資構成：セブンファーム 95%
 地元生産者 5%
- 各社役割：イトーヨーカ堂 農産物の販売
 地元生産者 農産物の生産

＜農場と食品残さ排出店舗の所在地＞



3. 『セブンファーム湘南』の生産活動について

- 農場名称：セブンファーム湘南
- 所 在 地：神奈川県茅ヶ崎市
- 農場面積：2ヘクタール
- 栽培品目：ほうれん草、小松菜、かぶ等の露地野菜 約6品目
- 収 穫 量：約50トン（*初年度1年間）
- 堆 肥 化：イトーヨーカドー小田原店、県内のヨークマート2店舗、そごう・西武1店舗から食品残さ（食品ごみ）を回収し、小田原市内のリサイクル施設にて堆肥化
- 販売店舗：神奈川県内の9店舗を中心に販売予定
- スケジュール：本年9月より、小松菜、ほうれん草、かぶ等の生産開始

以 上

【ご参考】これまでのセブンファームの取り組み

1. セブンファームの事業規模

全国9ヶ所（1都1道6県） ※2013年7月17日現在
10ヶ所設立時の作付面積（見込み）：自営60ha 協力農家込み140ha
（東京ドーム約29.8個分）
2008年～2013年の累計出荷量（見込み）：約7,000t
2012年の出荷実績：対前年比170%

2. セブンファームの基本理念

- ① 農業のお手伝いをしたい
- ② リサイクルを進めていきたい

3. セブンファームのこれまでの事業推移

当社は2008年8月、企業の社会的責任（CSR）活動の一環として、食品リサイクルの向上と地域農業の活性化を目的に、セブン&アイ・ホールディングス初となる農業生産法人「セブンファーム富里」（千葉県富里市）を設立し、「環境循環型農業」を小売業で初めて開始。その後、農場面積や栽培品目、収穫量等を拡大し、設立2年日以降に事業の黒字化を達成。

また、全国各地における農業法人の新規設立や事業拡大、食品リサイクル網の整備等を一元管理する中核会社「株式会社セブンファーム」を2010年5月に立ち上げ、全国10ヶ所への事業拡大を決定。

中核会社の傘下法人として、現在までに富里の他、
「セブンファームつくば」（茨城県筑西市、2010年9月設立、*事業会社）、
「同 三浦」（神奈川県横須賀市、2010年10月設立、*事業会社）、
「同 深谷」（埼玉県深谷市、2010年11月設立、*農業生産法人）、
「同 北海道」（北海道東上川郡、2012年1月設立、*事業会社）、
「同 東海」（愛知県碧南市、2012年5月設立、事業会社）、
「同 東京」（東京都立川市、2012年10月設立、事業会社）、
「同 新潟」（新潟県新潟市、2013年5月設立、事業会社）、
の8ヶ所で「環境循環型農業」を展開。

農業従事者の高齢化や耕作放棄地の増加、農地法の改正等、日本の農業を取り巻く環境は大きな転換期に突入。セブンファームは“日本の農業のお手伝い”という基本理念のもと、地域ごとに最適な法人形態（農業生産法人もしくは事業会社）を設立し、持続可能な地域農業への貢献を推進継続。

4. その他のセブンファーム主な取り組み

規格外品等の販売と全量買い付け

今まで商品として販売されなかったものも、お客様にきちんと理由をご説明して、素材および加工品等の形態で工夫して全量買い付けへ取り組み強化

地域との交流と食育への取り組み

周辺地域の小学生やイトーヨーカドーのお客様等をセブンファームにご招待。種まき・収穫体験ツアーの実施により、セブンファームを活用した交流・食育を推進
「JGAP 認証」の取得と安全・安心の取り組み推進

2009年11月に「JGAP 認証」を富里・つくば・北海道の各拠点・農場で取得。
農業現場に安全・安心および、生産・経営システムの継続的な改善を導入・推進

※『2012年 GAP 普及大賞』を受賞 「セブンファーム」「顔が見える野菜。果物。」にて